

さらなる前進:フォーミュラ2の電動ホイールガンへの切り替え

13年2023月<>日

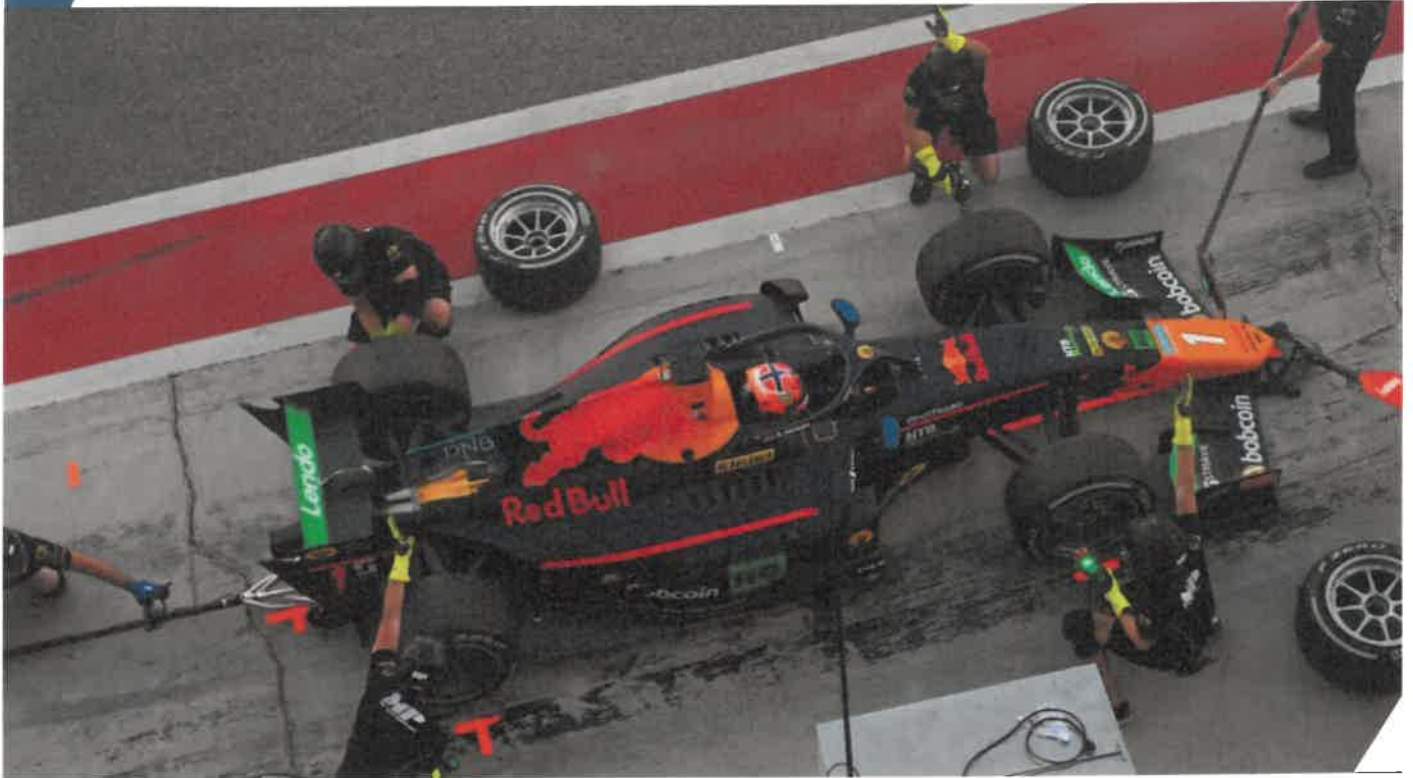


ピットレーンに集中すると、今シーズンのF2について何か違うことに気づいたかもしれません。いくつかの大きなメリットがある動きで、今年はずべてのチームが過去の空気圧ホイールガンとは対照的に電動ガンで運用しています。

スイッチの背後にある主な理由は安全性の名の下にあります。プラスポイントには他にもいくつかの大きな利点があります。持続可能性の向上、信頼性の向上、チームへの財務的影響の軽減はすべて、F2を変化に駆り立てた大きな要因です。

「この変更の背後にある最大の理由は、ピットレーンを以前よりもはるかにきれいにし、そうすることで、はるかに安全になることです」とF2のCEOであるブルーノ・ミシェルは説明します。「ピットレーンに持っていたすべての機器チームを見ると、空気のボトル、ガントリー、そしてそれらの古いホイールガンに必要なすべてのものがたくさんありました。今では、物事をよりシンプルに、より安全にしました。」

その機器はすべて、維持管理とともに上記の機器を輸送するという点で、チームにとってかなりの請求にもつながりました。ミシェルが説明するように、地上の機器の重量、



緑色のLEDは、ホイールが車に完全に取り付けられたことを整備士に知らせます

「空気圧式ホイールガンでは、初期コストが高く、チームもそれらを維持するためにお金を払わなければなりませんでした。私たちが見たのは、空気圧銃を維持するためのコストは、新しい電気銃を購入するコストと同じであるということでした。それは大きな違いを生みます。

「世界中のすべての機器を持ち歩くのは非常に複雑でした。新しい電動銃はガントリーや以前のすべての機器よりもはるかに軽量であるため、100~200kg相当の貨物を取り除きます。チームトラックとのヨーロッパラウンド中、特にフライアウェイと航空貨物の場合、チーム旅行はこれまで以上に持続可能になります。」

[続きを読む:ブルーノ・ミシエルの報告:スリリングなシーズンのメイキング](#)

前述のように、この変更は競争中のチームにも利益をもたらします。ピットレーンの人員へのリスクを軽減するとともに、ドライバーも変更によって支援されるように設定されています。空気圧銃はほんの一瞬速くピットストップを提供するかもしれませんが、電気銃の一貫性は以前よりも一歩前進しています。

ピットストップで2分の<>秒節約しても、ホイールが正しく取り付けられていなければ役に立ちません。新しいホイールガンの導入は、チャンピオンシップとそのチームの間の緊密な対話の後に行われたと、F<>テクニカルディレクターのディディエ・ペリンは述べています。



F2チームは航空会社やピットガントリーを必要としなくなり、より明確で安全なピットレーンを実現

「これらの電動ホイールガンの要件を知るのに、毎週末これらのタイヤ交換を行っている整備士ほど良い場所はありません」とペランは言います。「彼らは何が良いホイールガンを作るのかを知っています。

「最初のプロトタイプを入手したらすぐに、チームとメカニックを巻き込み、フィードバックを得るためにテストしてもらい、チームと協力してホイールナットを保持するホイールガンに取り付けられるソケットを定義しました。私たちはチームと協力して、銃の人間工学、回転を逆にするボタンの位置について、初日からテストと検証に携わってきました。

[続きを読む:サヒールのファストスターター:F2ウィークエンドラップアップ](#)

「F2のホイールガンとF2の空気圧ホイールガンを比較すると、F2の電動ホイールガンを使用したピットストップは、空気圧ガンを使用した場合よりも数十分の一秒遅くなりますが、ピットストップの一貫性は電動ホイールガンの方が優れています。空気圧ガンを使用すると、より迅速なピットストップを行うことができますが、毎回そのクイックストップを行うことは困難です。新しい主砲は軽量で使いやすくなっているため、チームにとってピットストップの一貫性が高まります。」



チームはより少ない装備を持ち込むことができ、ストップは電動銃との一貫性が高くなるように設定されています

チームとのハンドイングローブアプローチによって達成されたプロセスにより、コストと貨物量の削減が削減され、チームのコストが削減されます。貨物が少ないということは、チャンピオンシップの持続可能性が向上することを意味し、ピットレーンからの機器の取り外しとともに、スイッチはあらゆる面で理にかなっています。

ミシェルは、レースアクションを損なわない利益がある限り、F2にはテクノロジーを洗練し、改善し、以前よりもさらにプッシュし続ける義務があると付け加えています。

「テクノロジーの面で物事を正しい方向に進める変更を行い、チームが投入しなければならないコストを削減できれば、それは正しいステップです。私たちは今、この種のアプローチをとる必要があります。私たちがいつもやってきたやり方にとらわれないようにする必要があります。私たちは常にこのようなことを非常に効率的に行ってきました。私たちは進化します。」

アラムコとのパートナーシップによるアドバンスト・サステナブル・フューエルズの導入とともに、2023年のF2キャンペーンは、シングルシーターレースの未来に向けて技術的な限界を押し広げています。



[規約と条件](#)

[クッキーポリシー](#)

[プライバシー通知](#)

[クレジット](#)

[お問い合わせ](#)



グローバルパートナー

